

☆ ボランティアさんの一言 ☆

みなさん、もう3月です。
早いですね。今年も1/6が終わってしまいました。今年
は2月にZTF彗星(C/2022 E3)が見頃でしたが、観測で
きましたでしょうか？すでに南半球に行ってしまったの
で、もう日本からは観測できない状況です。これからは
春の星座とメシエ天体が見頃になってきます。

メシエ天体を次々と観て廻る『メシエマラソン』って
天文観察方法があります。
一晩でどれくらい廻れるか？にチャレンジされる方もい
らっしゃいます。メシエマラソンにご興味があれば、
くらぶちこども天文台でご相談ください。

(by ぐっさん)

くらぶちこども天文台

2023★3月の星空

くらぶち きび さむ すこ やわ き
倉^{くらぶち}淵^{きび}でも^{さむ}厳しい^{すこ}寒^{やわ}さが^き少し、和^きらいだ^きような^き気が^きし
ます。夜^{よぞら}空^{みあ}を見^あ上げると、オリ^おオン^お座^お率^おいる^お冬^おの^おダイ^お
ヤ^おモ^おンド^おが^おだ^おん^おだ^おん^おと^お西^おに^お傾^おき、春^おの^お代^お表^お的^おな^お星^お座^お
である^おし^おし^お座^おが^お空^おを^おか^おけ^おる^およ^おう^おに^お昇^おっ^おて^おき^おて^おい^おま^おす^お。
知ら^しず^し知ら^しず^しの^しう^しち^しに^し春^しの^し草^し花^しが^し咲^しい^して^しい^しく^しよ^しう^しに^し、
夜^{よる}を^{いろど}彩^{ほしほし}る^{きせつ}星^{めぐ}々^{めぐ}も^{めぐ}季^{めぐ}節^{めぐ}を^{めぐ}巡^{めぐ}っ^{めぐ}て^{めぐ}い^{めぐ}る^{めぐ}の^{めぐ}で^{めぐ}す^{めぐ}ね^{めぐ}。そ^{めぐ}ん^{めぐ}な^{めぐ}
春^{はる}の^{ほしぞら}星^み空^みを^み見^みに^み、ぜ^みひ^み当^み館^みに^みい^みら^みっ^みし^みや^みい^みま^みせ^みん^みか^み？
か^み？



開館時間：15：00～21：30

☆ 3月の見頃の時間は19：00ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

今月の星座

北

西



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【**おうし座**】【**ふたご座**】【**かに座**】が見ごろになり、春の星座である【**しし座**】もそれに続いて高く昇るころになります。また、北を示す【**カシオペア座**】と『**北斗七星**』が両方一度に見られる時期になりますので、『**北極星**』探しが楽しい季節でもありますよ！『**北極星**』は一等星ではなく二等星。有名な割に思ったより暗い天体でもあります。

星空トピックス『M』

観望会で良く聞く言葉、『MOO』にまつわる話です！

◇ 『M78』 『M八七』 と聞くけれど…

星のような数、とはよく言いますが、天体は無数にあります。『アンドロメダ銀河』や『すばる』など、有名な名前をもつものもありますが、すべてにそういった通称があるわけではありません。そこで登場するのが天体カタログと呼ばれるもの。『メシエカタログ』や『NGCカタログ』などの種類があり、膨大な天体に番号をつけてまとめています。『MOO』はこの『メシエカタログ』の頭文字なのです！

◇ 彗星探索の紛らわしさから…

18世紀中ごろ、パリのフランス海軍天文台で彗星探索に尽力した天文学者シャルル・メシエは、彗星と間際らしい天体や自らが発見した天体、それまで知られていた天体に番号を付け、まとめました。彼の没後も弟子たちが引き継ぎ、結果『M1～110』番までが『メシエカタログ』として知られています。メシエ天体は数もそれほど多くなく、わかりやすい天体が多いことから、初心者向けの天体として重宝されたり、一晩でいくつのメシエ天体を観測できるかに挑戦する“メシエマラソン”で親しまれています。

当館でも四季折々の『メシエカタログ』の天体を楽しめますのでぜひ遊びに来てくださいね！

